

令和3年度指定管理者業務モニタリング評価表

施設名	穂の国とよはし芸術劇場
所在地	豊橋市西小田原町123番地
指定管理者	(公財)豊橋文化振興財団
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
担当課	文化・スポーツ部「文化のまち」づくり課(0532-51-2873)
令和2年度指定管理料(決算)	67,179千円
令和3年度指定管理料(決算見込)	64591千円

項目	基準	評価																																														
管理業務の実施状況に関する項目	維持管理業務の実施状況	仕様書等に基づき施設の適切な維持管理業務が行われているか。 維持管理業務は特別目的会社が行っている。																																														
	自主事業等の実施状況	事業計画書等に基づいた施設の設置目的に沿った事業が実施されているか。 令和3年度は計画した事業のうち一つの公演が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、感染状況に応じた制約があるなか新たな催事手法等により市民に対し優れた舞台芸術に接する機会を提供する事業及び、若手アーティストの育成に繋げる事業を実施している。																																														
	人員配置等の業務体制	仕様書等で定めた人員配置がなされているか。また、労働環境が関係法令等を遵守した適正なものとなっているか。 事業計画書とおりに適切に人員配置がされており、労働環境は関係法令等が遵守され適正なものとなっている。今後は更に、内部での情報共有を図り、チェック体制についても再度精査する必要がある。																																														
	職員研修の実施状況	事業計画書等に従い職員研修が実施されているか。 事業計画書に基づき定期的に研修が実施されている。																																														
	個人情報保護の措置状況	協定書の個人情報保護規定に基づき、個人情報が適正に管理されているか。 協定書等の個人情報保護規定、公益財団法人豊橋文化振興財団個人情報保護規定に基づき適正に管理されている。																																														
	緊急時対応への取組状況	緊急時の連絡体制があり、かつ訓練等が実施されているか。 マニュアル、非常連絡網が整備され、定期的に避難訓練等も実施されていることから、十分な取り組みがなされている。																																														
施設利用状況に関する事項	施設利用の許可状況	利用者の公平な選考を確保しているか。 利用者の決定は、規則・要綱に則り適正に行われている。																																														
	施設利用状況	前年度と比較した利用者数等についてはどうなっているか。(利用状況を数値化して令和2・3年度と比較)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>比較(R3-R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開館日数</td> <td>349日</td> <td>308日</td> <td>349日</td> <td>41日</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>a. 主ホール</td> <td>101,713人</td> <td>32,720人</td> <td>58,115人</td> <td>25,395人</td> </tr> <tr> <td>b. アートスペース</td> <td>33,651人</td> <td>11,950人</td> <td>22,200人</td> <td>10,250人</td> </tr> <tr> <td>c. 創造活動室</td> <td>24,071人</td> <td>9,374人</td> <td>11,809人</td> <td>2,435人</td> </tr> <tr> <td>d. 研修室</td> <td>16,573人</td> <td>5,594人</td> <td>8,641人</td> <td>3,047人</td> </tr> <tr> <td>e. 交流スクエア</td> <td>53,349人</td> <td>19,069人</td> <td>23,033人</td> <td>3,964人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>229,357人</td> <td>78,707人</td> <td>123,798人</td> <td>45,091人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【要因分析】 新型コロナウイルス感染症の影響による施設利用の中止・延期、自主事業の公演中止や集客率の低下などにより、主ホール・アートスペースの利用者数は前年度比78%増・86%増となったが、手軽に利用できる創造活動室や交流スクエアの利用回復が遅れているため全体では57%増に留まった。 令和元年度の利用水準と比較すると54%まで回復した。</p>		令和元年度	令和2年度	令和3年度	比較(R3-R2)	開館日数	349日	308日	349日	41日	利用者数					a. 主ホール	101,713人	32,720人	58,115人	25,395人	b. アートスペース	33,651人	11,950人	22,200人	10,250人	c. 創造活動室	24,071人	9,374人	11,809人	2,435人	d. 研修室	16,573人	5,594人	8,641人	3,047人	e. 交流スクエア	53,349人	19,069人	23,033人	3,964人	計	229,357人	78,707人	123,798人	45,091人
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	比較(R3-R2)																																										
		開館日数	349日	308日	349日	41日																																										
		利用者数																																														
		a. 主ホール	101,713人	32,720人	58,115人	25,395人																																										
b. アートスペース		33,651人	11,950人	22,200人	10,250人																																											
c. 創造活動室	24,071人	9,374人	11,809人	2,435人																																												
d. 研修室	16,573人	5,594人	8,641人	3,047人																																												
e. 交流スクエア	53,349人	19,069人	23,033人	3,964人																																												
計	229,357人	78,707人	123,798人	45,091人																																												
サービス向上等への取組状況	施設PRやサービス向上の取組みは実施されているか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページやメールマガジン、劇場フェイスブック、劇場広報誌をはじめとする各種広報活動により、イベント情報の発信、施設PRを効果的に行っている。</li> <li>・劇場の特性を活かした自主事業の実施により、利用者サービス、施設の認知度向上に努めている。</li> <li>・映像配信機器の活用等により新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた催事手法の提案に努めている。</li> <li>・芸術文化に関する高い専門性と豊富な経験、知識を有する職員を配置することで、質の高い舞台芸術公演を実施し、市民の鑑賞体験を蓄積するとともに、市内外からの来場者を増やすことでまちなか活性化にも貢献している。</li> </ul>																																															
利用者満足度調査結果	利用者への満足度調査(アンケート)等を実施し、業務改善を実施しているか。(指定管理者が自ら行ったアンケート結果に基づく) <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査の実施</li> <li>施設運営に関する総合的な感想</li> <li>満足・やや満足…81.8% 普通…14.0%</li> <li>不満・やや不満…4.0% わからない…0.2%</li> </ul> 概ね満足しているが、更に質の高いサービスを提供し、利用者満足度を高めるために、各要望や苦情への柔軟な対応、適切な維持管理を継続していく必要がある。																																															

意見箱等	意見箱等に寄せられた具体的な意見	内容		対応		
		キーボードのペダルが壊れかけている		使用後等の点検を徹底する。		
		音響設備が良く、楽しく練習できた。		-		
		-		-		
苦情・トラブルへの対応	利用者の苦情等への対応は適切であったか。	適切かつ迅速に行われている。				
管理経費等の収支状況等	経費等の執行管理状況	資金の適正な管理と経理内容の明確化が実施されているか。	資金管理は確実に実行されている。また、指定管理業務とその他の業務を区分し、適正に経理されている。			
	経費等の収支状況	収支計算書	収入の部		支出の部	
			指定管理料	64,591千円	指定管理事業費	134,168千円
			利用料金収入	25,254千円		
			自主事業収入	12,012千円		
			その他収入	35,703千円		
			収支差額	3,392千円		

指定管理者の自己評価	<p>穂の国とよはし芸術劇場は、開館9年目となり、自主事業や貸館事業により多くの利用者を受け入れる芸術文化交流施設として、演劇、ダンス、音楽を通じて市民の文化的生活を向上させる公共の場を提供することを目的としています。</p> <p>コロナ禍において、利用者及び関係者が安心して施設利用ができるようアルコール消毒液の設置や催事実施時にサーモグラフィカメラの無料貸出をするほか、創造活動室・研修室・楽屋・交流クスの机・椅子などに抗菌コートを行うなど感染防止対策も配慮し、適正な維持管理・運営を行いました。また利用者が密にならないよう啓発と共にチケットの窓口販売を抑制するためのSNSの活用や事業中止等に伴うチケット払い戻しなどに郵送を取り入れるなど、きめ細やかな対応と情報発信に努めました。</p> <p>収支状況については、新型コロナウイルス感染症の影響による貸館利用者の減少などが影響し、指定管理事業や自主事業収入が減少しましたが、指定管理事業(利用料金収入)については市からの支援金で補てんされたため、安定した事業継続を行うことができました。</p> <p>自主事業としては、予定していた事業のうち一つの公演が中止となりましたが、国の補正予算の補助金を活用しながら舞台芸術の鑑賞機会の創出するとともに、東三河高校演劇部支援や若手音楽家育成事業などの舞台芸術人材育成事業などを実施し、東三河市民の芸術文化活動の拠点として安心して市民の方が楽しんでいただける機会を継続することができたものと評価しています。</p>
------------	---

総合評価	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、公演事業の1つが中止となるなど、苦しい運営が続いているが、令和2年度に比べ利用者数は増加した。</p> <p>若手アーティストの育成事業である「ワンコインコンサート」を開催するとともに、過去の出演者の次のステップアップとして、より本格的な単独コンサートを開催するなど若手アーティストの育成に努めている。</p> <p>また、映像配信機器の活用等により新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた催事手法を取り入れ、来場できない市民との繋がりを絶やさないよう努めている。</p> <p>コロナ禍という文化活動を行うのが困難な状況の中、感染症対策を取りながら、大道芸による「とよはしアートフェスティバル」を昨年度に引き続き開催し、市民に舞台芸術に触れる機会を提供するとともに、まちなかの賑わいや人の回遊を創出するなど、芸術文化の振興と市民の交流という劇場本来の役割を果たすとともに、市の目指す中心市街地活性化にも貢献している。</p>
------	--